

運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時	令和4年3月15日(火)	書面開催
資料配布者		議 題
利用者	1名	・デイサービス事業報告
学職経験者	1名	・避難訓練について
市職員	1名	・近隣での火災発生・悪徳業者の被害について
地域包括支援センター	1名	・個別機能訓練の取り組みについて
事業所	1名	・ヒヤリハット報告
資料配布内容		
<p>1 運営状況報告</p> <p>登録者数：令和4年3月1日時点の利用者数・介護度別</p> <p>利用者合計：109名</p> <p>介護度：介護1（31名）、介護2（13名）、介護3（2名）、介護4（1名）、介護5（0名）</p> <p>支援1（24名）、支援2（18名）、事業対象者（20名）</p> <p>従業員数：管理者1名、生活相談員3名、看護師3名、理学療法士1名、介護士3名、ドライバー1名</p> <p>2 避難訓練について</p> <p>年に2回、避難訓練を行っており、昨年11月には隣の空き地(雑木林)での火事を想定した避難訓練を行いました。4月は震度4の地震を想定した避難訓練を行う予定です。</p> <p>3 近隣での連続火災発生・悪徳業者の被害について</p> <p>一人暮らしの利用者様やご夫婦二人暮らしをされている利用者様が多いため、近隣で起こった連続火災もあり、今まで以上に送迎時には火の元の確認や声掛けを強化して行っております。また、悪徳業者訪問や電話での詐欺に合わないよう常に日頃より注意を促し、事前に起こりうる被害を阻止出来るように努めていきます。</p> <p>4 個別機能訓練の取り組みについて</p> <p>機能訓練の実施状況 事例紹介</p> <p>H様 80歳 男性 要介護3 病歴：高血圧症 てんかん 心疾患 胆管がんの疑いあり</p> <p>症状：認知診断でていないも物忘れ 食事量の減少</p> <p>現在の移動時のご様子：独歩にて移動されている</p> <p>現在に至るまで：高血圧・てんかんの薬を服用。平成29年頃より突然意識消失発作が起こるようになったが、抗てんかん薬を服用するようになってから発作を起こす事なく安定されている。令和3年頃から物忘れが酷く短期記憶に問題あり。近所の喫茶店まで歩いて行きお友達との交流はあったが、コロナ流行によりご自宅から出掛ける機会が減り心肺機能</p>		

の低下も見られるようになった。もともとデイサービス利用に対し強く拒否の発言があり、デイサービスの利用が出来ていなかったが、笑笑音を体験される際娘様と来所され同級生が居た事によりデイサービスに対しての拒否が無くなり他者との交流機会、運動機会を持つようになった。

来所開始時は、ご自宅でテレビを見ている事が多く、筋力・体力の低下とともに食事量も減っている状況で、杖を使用しての移動もふらつきが強く、常に見守りが必要だった。支援から介護になり、デイサービスの利用の回数が増えた事で他者との交流がさらに増え、著しかった認知機能の低下も落ち着き、身体機能の向上も見られる。ご自宅で横になる事が減り、体を動かす事により食事をしっかり摂取出来るようになり、体力・筋力の向上見られる。

I 様 76 歳 要介護 3 病歴：肝障害 パーキンソン病 右大腿骨頸部骨折

現在の移動のご様子：一本杖にての移動をされている

現在に至るまで：令和 3 年 3 月 20 日ご自宅の 2 階から転倒され近隣病院受診されご自宅で療養。痛みが尋常ではなかった為総合病院緊急受診される。29 日右大腿骨頸部骨折との診断の為、人工置換術施行される。4 月 19 日リハビリ病院に転院され 7 月 3 日に退院される。退院後はご自宅内で歩行器を使用されているも転倒リスク軽度あり。本人様のご希望では「足腰の筋力低下見られる為、屋外内で転ばないように運動したい。ご家族に迷惑かけないように生活したい」とデイサービス利用を開始。利用開始時は二本杖を使用されるもふらつきが強く転倒リスク高い状態であった。

職員見守りのもと平行棒内にて不安定な場所でも安定した歩行が行えるようにバランスパッドの上で足踏みを行って頂いたり、階段を使用しての昇降訓練にて足を上げる事を意識して頂いたりといった歩行訓練を行っている。現在では下肢筋力の向上見られ 1 本杖にて屋外内を移動出来るようにまでなり、4 月より要支援判定の結果が出た。今後も I 様のご希望にて運動を継続しご家族様も I 様をご自宅に引きこもる事の無いように他者との交流を目的としデイサービスに通うことを望まれている。

5 ヒヤリハット・事故報告

起きた後の事故へつながらないための防止策

<p>送迎時</p> <p>送迎車から降りられ、少しの段差を登ろうとされた際にバランスを崩され後方にふらつかれる</p>	<p>対応策</p> <p>送迎車から降りてすぐはバランスを崩される事が多いため近位での見守りを必ず行う。</p> <p>他利用者様が降りられる事に意識が集中してしまう為、降りられた人にも意識をする。</p>
<p>有酸素運動後</p> <p>有酸素運動終了後にサイクルチェアをそのままの位置に置いたままにし、次に移動する場所に声掛けを行い利用者様が移動しようとした際にペダルに足を引っ掛けふらつかれる。</p>	<p>対応策</p> <p>椅子に座り有酸素運動を行って頂く為、移動して頂く際に椅子とサイクルチェアの間を安全に移動出来るスペースがあるか確認してから次に移動して頂く場所の声掛けを行う。</p>

<p>体操時</p> <p>プレミアムストレッチ体操時の立ち上がり動作時に、しっかり立位が出来ていない状態で右後方にふらつかれる。</p>	<p>対応策</p> <p>スタッフが前に座り体操を行って頂いているが介助が必要になった場合に備え、スタッフの近くで体操を行って頂けるように声がかえを行う。</p>
---	--

※ 運営推進会議はコロナウイルス感染予防対策といたしまして、今回は開催を中止させていただきました。会議で予定しておりました報告内容を参加予定者に配布し、ご意見をいただきました。

ご意見・ご質問

(瀬戸市役所 健康福祉部 高齢者福祉課)

・避難訓練について

10月の避難訓練の記録に、「初期消火」とありますが、初期消火の方法は何でしょうか？もし、消火器での消化を想定しているのであれば、事業所内に何本消火器は設置してみえますか。また、全ての職員が消火器を使用できますか。

→ 初期消火は消火器を使用し行う事を想定して行いました。事業所に消火器を2本設置しており、消火器が設置されている場所を従業員全員が把握をしています。消防士より消火器の使用の仕方・心臓マッサージの正しい行い方の講習を受けられるように検討をしています。

(地域包括支援センターしなの)

・骨折や手術後のデイサービスの再利用時に個別機能訓練で行ってはいけない動作や、有効なりハビリ等の情報の収集はどの様に行ってみえますか？

→ 運動の制限は入院時に医師より指導を受けられ、本人様や家族様から教えて頂き、理学療法士に相談をさせて頂き有効なりハビリ方法の運動指導を受けています。

(理学療法士・学識経験者)

・個別機能訓練について

(症例1 認知機能低下について)

認知機能低下の最も関連する因子は、老化であり誰しも年齢が進めば起こる現象です。認知機能は、できる限り低下が軽度のうちから対処することで低下の増悪を遅らせることが可能となります。その最も重要な手段は「運動」と「社会参加（孤立を防ぐ）」であり、デイサービス利用者がますます高齢化する中でデイサービスの重要性はさらに高まっています。

集団で時間を過ごすデイサービスにおいて個々に対応することは大変ですが、利用者に可能な限り声をかけるなど笑顔で楽しくデイサービスの時間を過ごせるよう頑張りたいと思います。

(症例2) パーキンソンについて

パーキンソン病は症状が重くなればなるほど運動の効果が低くなる病気です。そのような利用者に対し、歩行訓練を通じて、「歩く」機能を維持し、生活不活発病を予防することはとても重要なことと思います。また、「大股歩き」、「バランスを意識した歩行」などさまざまな訓練の工夫がみられ、とても良いことだと感じました。

→ ありがとうございます。利用者様には運動は勿論、デイサービスに行くことが楽しみだと思って頂き来所して頂けるようにスタッフ全員で支援させて頂きます。

(利用者 M 様)

・とても楽しく来る事が出来ています。以前通っていたデイサービスと雰囲気はまったく違い雰囲気がとても良い。現在は週に 2 回利用する事が出来ているが、出来る事なら毎日通いたいと思っている。運動に力を入れている為、ご自宅や運動時の立ち上がりをスムーズに行えるようになった。ご自宅で出来る運動プリントを頂いているので自宅の壁に貼り毎日の日課として行っているが、暖かくなったら散歩も日課にしたい。

→ ありがとうございます。自立した生活を送って頂ける・安定し歩行を行い散歩して頂けるように運動を継続して頂き、他者との交流も継続して頂きたいと思っています。

(品野民生委員協議会)

・コロナ下、色々ご苦労があるかと思いますが、高齢者福祉にご助力お願いします。

→ ありがとうございます。今後もコロナ対策をしっかりと行いスタッフ一同、利用者様に尽力していきます。